

実践的

KAGAKUCHI

化学知 NEWS

Vol. 01

早稲田大学グローバル COE プログラム

「実践的化学知」教育研究拠点

ニュースレター

Global COE Program

Practical Chemical Wisdom

News Letter



WASEDA University



「実践的化学知」
教育研究拠点リーダー

黒田 一幸

実践的化学知とは？

「実践的化学知」という言葉には、深い意味がこめられています。「実践的」とは「役に立つ」ということ。「役にたつてこそ化学」なのです。早稲田大学の建学の精神にある「学問の活用」につながるのが「実践的」という言葉なのです。グローバルCOEの前の21世紀COEでは、本学の化学系は「実践的ナノ化学教育研究拠点」として大きな成果をあげました。「実践的」という言葉は継承すべき重要なキーワードなのです。

それでは「化学知」とはなんでしょうか。ここでいう「知」は単なる知識を意味するのではなく、智慧、英知などを含む複合的な深い知を意味します。ですから「化学知」とは、社会・人間に関わる諸課題を、俯瞰的に把握し、その中から自分の問題意識を明確にもって化学を推進できる英知と知力を意味します。また、そのような能力を備えた若者を育てていきたいと考えています。例えば、『ほんとうに役に立つとは

ということなのか』を自分の頭で考え、行動できるのも知の力といえるでしょう。

当拠点では、環境に優しく人間生活に貢献する革新的未来材料開発を指向した「メソ化学」を推進しています。これからは分子の世界のみならず、より大きなスケールでの物質化学を展開する必要があると思います。物質の構造・材料の合成プロセス・種々の応用を目指した展開や、それらを可能にする多くの学問領域の融合的協力体制の中で、メソスケール化学の体系化をしていこうとしています。国内外の研究機関との連携研究も必須の展開で、様々な仕組みで若手研究者の能力を磨くことができるようにプログラムを進めています。

「研究面では英知を」「教育面では知力を」の理念と建学の精神をもとに、最高水準の教育研究の場として充実させていこうと全力で取り組んでいます。